



森林 GIS フォーラム
2019年度 東京シンポジウム
－令和新時代の森林 GIS－

開催日：2020年2月5日（水）10:00－17:00

場 所：鉄鋼会館

主催：森林 GIS フォーラム

《プログラム》

- 受付 10:00～
- 【賛助会員による森林 GIS 関連展示、デモ】 10:00－17:00
- 【プレナリーセッション】 10:30～12:00
 - 開会の挨拶 森林 GIS フォーラム会長
 - 話題1 スマート林業（林業イノベーション）の推進
林野庁 整備課 造林間伐対策室 室長 諏訪 実
 - 話題2 森林情報のあり方とは
～森林 GIS フォーラム標準仕様分科会の取組～
一般社団法人日本森林技術協会（分科会会長） 大萱直花
 - 話題3 新規賛助会員の紹介

- 【ワークショップセッション】 13:30～15:30

Room I 13:30-14:30

「これからの森林 GIS に必要な情報は？」

スマート林業時代の森林情報の在り方について、意見交換をしていきたいと思います。日常的に使用している森林簿や施業履歴情報は、精度や更新の面で多くの課題が挙げられます。本ワークショップでは、本当に必要な情報は何か議論をした上で、それらの情報を迅速かつ高精度に収集する仕組みについて意見交換を行っていきます。

コーディネーター 鹿又秀聡（森林総合研究所）

話題提供：

鹿又秀聡（森林総合研究所）

大萱直花（日本森林技術協会）

中村 尚（パシフィックコンサルタンツ株式会社）

長崎県農林部森林整備室

広島県農林水産局林業課

Room1 14:30-15:30

「森林内での GNSS 測定の今 - 測位誤差数 cm は可能になったのか? -」

これまでの GNSS 測量では森林内で FIX 解が得られず、精密な位置決めは不可能であると言われてきたが、最近では安価で高精度の RTK 受信機が市販されるようになり、高精度測位への期待が高まってきた。本ワークショップでは最新の受信機を使用した森林内での測位事例を紹介し、会場の方々とディスカッションを行う。

コーディネーター 小林裕之（富山県農林水産総合技術センター）

話題提供：

小林裕之（富山県農林水産総合技術センター森林研究所）

戸田堅一郎（長野県林業総合センター）

Room2 13:30-14:30

「ドローンによる施業確認の試行について」

林野庁では、来年度より、森林整備事業の申請・検査に GIS データ(シェープファイル)やオルソ画像等を活用することとしている。これに先立ち、複数の道県では、ドローンによる撮影やオルソ化等を試行的に実施した。本ワークショップにおいては、これらの道県から試行結果や課題等について紹介するとともに、課題解決に向けた討論を行う。

コーディネーター 諏訪 実（林野庁 造林間伐対策室長）

話題提供：

北海道 森林整備課 主査 廣永将富（他1名）

石川県 農林総合研究センター林業試験場 森林環境部長 矢田豊

和歌山県 森林整備課 主査 森本唯史

山口県 森林整備課 主査 本田聡（他1名）

Room2 14:30-15:30

「森林クラウドとモニタリング情報が導く新しい業務サイクル」

高精度化が進む衛星画像と AI 判読、そして高性能林業機械から得られるビッグデータ、これら革新的な「森林モニタリング情報」を、地域の森林情報共有プラットフォームに発展しつつある「森林クラウド」に集約することで生じる新しい森林管理と林業の業務サイクルについて、話題提供をいたします。

コーディネーター 山本里美（パスコ）

話題提供：

株式会社パスコ 山本里美

島根大学 米 康充

大分県林務管理課 荒木実穂

コマツ 田中一生

■【コーヒーブレイク】 15:30-16:00

■【賛助会員による話題提供】 16:00-17:00

アジア航測株式会社
ESRI ジャパン株式会社
株式会社ジツタ
住友林業株式会社
株式会社 パスコ

●17:00 閉会予定

【賛助会員による森林 GIS 関連展示、デモ】

アジア航測株式会社
株式会社アドイン研究所
ESRI ジャパン株式会社
株式会社ジツタ
住友林業株式会社
株式会社竹谷商事
パシフィックコンサルタンツ 株式会社
株式会社 パスコ

スマート林業（林業イノベーション）の推進

林野庁 整備課 造林間伐対策室
諏訪実

林野庁では、2020年度より、森林整備事業の申請・検査にリモートセンシング技術等の活用を本格的に進めていくこととしている。新たな仕組みでは、現行の紙ベースの図面や写真の提出に代え、GIS データ(シェープファイル)等やオルソ画像・ドローン単写真等を提出することを可能として上で、これらのデータを用いて検査を行うこととしている。これに先立ち、複数の道県では、ドローンによる撮影やオルソ化、施業の実施状況の確認等を試行的に実施した。本ワークショップにおいては、これらの道県から試行状況や、この中で明らかになった課題等について紹介する。その上で、これらの道県から提起された課題の解決に向けた討論を行う。

森林情報のあり方とは ～森林 GIS フォーラム標準仕様分科会の取組～

一般社団法人日本森林技術協会
大萱直花

森林 GIS フォーラムが標準仕様分科会を立ち上げるまでの経緯と、当分科会の今年度の活動結果を報告する。森林林業は、制度、技術の変化に伴い、大きな変革期に立ちっており、森林管理の基礎となる森林資源量情報についても従来の森林簿を中心とする仕組みを考え直す時が来ている。航空レーザ計測や地上レーザなど新しい技術で計測した森林資源量情報をどう取り扱うのか、川上から川下までどの情報をどう共有するのか。これら課題には、個別の自治体や企業の努力だけでは力及ばない。当分科会は賛助会員企業が中心であるが、利害を超えて議論を積み重ね、目指す姿を描いてきた。

今年度の結果として、現実空間の「森林資源量計測データ」→集約した「森林資源量基礎メッシュ」→「仮想空間成長モデル」としての森林簿、という3相モデルを提案したい。当分科会の取組はまだ緒についたばかりではあるが、これをきっかけに幅広い議論と、変革に立ち向かう気概を皆様と共有したい。

MEMO

森林 GIS フォーラムについて

設立の経緯

森林 GIS フォーラムは、森林関連の情報システムのひとつである森林 GIS に焦点をあて、森林管理に習熟した経営者や行政官と、情報処理に優れた専門家との相互交流を行い、森林管理に関する諸問題を解決することを目指して設立されました。

年間の活動内容

- ・ 4 ～ 5 月 運営委員会を開催し、年間の活動方針を決定
- ・ 9 ～ 11 月 各地域にて 地域シンポジウム、技術セミナー等を開催
- ・ 1 ～ 2 月 東京シンポジウムを開催
- ・ 3 ～ 4 月 日本森林学会大会にて学生シンポジウムを開催

一般会員の登録について

一般会員の登録については森林 GIS フォーラムのウェブサイト (<http://fgis.jp/contact>) からお申し込みください。入会費、年会費は無料です。

賛助会員について

賛助会員は森林 GIS フォーラムの目的に賛同し、その事業に協力しようとする法人または団体が加入することができます（ただし、日本国内に事業所を有すること）。2019年12月現在の賛助会員は以下（アイウエオ順）のとおりです。

- ・ アジア航測株式会社
- ・ 株式会社アドイン研究所
- ・ ESRI ジャパン株式会社
- ・ NTT 空間情報株式会社
- ・ 株式会社 ギョロマン
- ・ 国土地図 株式会社
- ・ 株式会社サテライトイメージマーケティング
- ・ 株式会社ジツタ
- ・ 住友林業株式会社
- ・ 株式会社竹谷商事
- ・ 一般社団法人日本森林技術協会
- ・ パシフィックコンサルタンツ株式会社
- ・ 株式会社パスコ
- ・ 北海道地図 株式会社

森林 GIS フォーラムの組織

会長、副会長のもとに、運営委員会が設けられています。運営委員は官学の代表からなります。フォーラムの活動方針や内容は、会長、副会長、事務局、そして賛助会員の出席のもと、運営委員会で討議され決定されております。森林 GIS フォーラムの運営に携わる役員については以下のとおりです。

会長	平田 泰雅	森林総合研究所
副会長	山本 一清	名古屋大学
事務局長	高橋 正義	森林総合研究所
事務局（広報）	鹿又 秀聡	森林総合研究所
事務局（会計）	細田 和男	森林総合研究所
事務局（企画）	北原 文章	森林総合研究所四国支所
事務局（企画）	中島 徹	東京大学
監事		
会計監査	西園 朋広	森林総合研究所

地区委員

北海道地区	津田 高明	北海道立総合研究機構林業試験場 道南支場
東北地区	小谷 英司	森林総合研究所東北支所
関東地区	鈴木 崇之	林野庁計画課
関東地区	有賀 一広	宇都宮大学
中部地区	戸田 堅一郎	長野県林業総合センター
関西地区	長島 啓子	京都府立大学
中国地区	米 康充	島根大学
四国地区	都築 勇人	愛媛大学
九州地区	加治佐 剛	鹿児島大学

(問い合わせ先)

〒305-8687 茨城県つくば市松の里1

国立研究開発法人 森林研究・整備機構

森林総合研究所 森林災害・被害研究拠点内

森林GISフォーラム事務局

高橋 正義

Tel: 029-829-8314, Fax: 029-874-3720

E-mail: o_fgis@fgis.jp

<http://fgis.jp/>

